

フットボールスタジアム整備を推進するための スタジアム基準の改定について (要約版)

2018年12月12日

公益社団法人日本プロサッカーリーグ
クラブ経営戦略本部 クラブライセンス事務局

本資料は、新たな基準の概要を一部説明するものです。
本件新基準を基に施設整備を検討又は実施する場合や、補助金制度の申請を行う場合は、
必ず、Jリーグクラブライセンス事務局にお問い合わせいただき、対象となる条文や申請要領をご確認の上ご対応ください。

スタジアム基準の改定について

よりよい施設整備の促進のために、以下の新たな基準を設けたい

1. スタジアム整備において、**条件を満たした場合の猶予期間**を設置

【例外規定 1】着工しており**3年以内に完成可能**であれば、上位ライセンス取得可能

【例外規定 2】**Jリーグが掲げる理想的なスタジアム**を整備いただけるのであれば、**5年の猶予**を認め（例外 1 との併用も可能）、上位ライセンス取得可能

2. 理想的なスタジアムは、**①アクセス②屋根③ビジネスラウンジ・スカイボックス・大容量高速通信設備④フットボールスタジアム**の4つの要件から定義
3. 上記改定に基づき**トレーニング施設整備に関しても3年の猶予期間**を設置
4. 上記理想的なスタジアム推進のための**補助金制度（1クラブあたり最大1000万円）**を設置

- ※ 1 クラブライセンス制度にかかわる 1 ～ 3 については、2019年申請（2020年ライセンス）から適用となる。4についても2019年から運用開始
- ※ 2 上記いずれの例外規定であっても、猶予期間を設定できない照明・諸室については、従前どおりシーズン開幕までに整備する必要がある（猶予が可能な項目は、「入場可能数」および「大型映像装置」のみ）

本資料は、新たな基準の概要を一部説明するものです。

本件新基準を基に施設整備を検討又は実施する場合や、補助金制度の申請を行う場合は、必ず、Jリーグクラブライセンス事務局にお問い合わせいただき、対象となる条文や申請要領をご確認の上ご対応ください。

これまでの整備状況

Jリーグ開幕後、スタジアム環境は、
競技運営、試合観戦、メディアや中継等のあらゆる面で飛躍的に向上してきた

過去（Jリーグ開幕前）

- 冬には**茶色の芝生**
- 夜間照明設備の**不足**
- 試合運用諸室の**不足**
- **屋根のない**観戦スタンド
- **ホスピタリティの低い**観戦環境

現在

- **常緑を維持する天然芝**
- **夜間でも試合可能な照明**
- **専門性の高い諸室の充実**
- **屋根カバー率の向上**
- **洋式トイレ数の増加**

- ✓ 2002年FIFAワールドカップ開催
- ✓ スタジアム検査要項の整備
- ✓ クラブライセンス制度の導入



スタジアムを所有する
ホームタウン自治体等
ご理解・ご協力

本資料は、新たな基準の概要を一部説明するものです。
本件新基準を基に施設整備を検討又は実施する場合や、補助金制度の申請を行う場合は、
必ず、Jリーグクラブライセンス事務局にお問い合わせいただき、対象となる条文や申請要領をご確認の上ご対応ください。

現行基準の課題

その一方で、現行の基準では、いくつかの課題が浮き彫りになってきた

競技の公平性 (インテグリティ上の潜在的脅威)

順位要件を満たしても、
スタジアムの基準を充足していない
ために、昇格できないクラブが存在
してしまっている

(2014年 北九州、2017年 秋田、
2018年 町田)

基準充足に向けた投資

観戦環境や収益性の向上よりも、
基準充足に重きを置いた施設整備
が検討されるケースがある

現行の基準を見直すことで、課題の解決に繋がっていききたい

本資料は、新たな基準の概要を一部説明するものです。

本件新基準を基に施設整備を検討又は実施する場合や、補助金制度の申請を行う場合は、必ず、Jリーグクラブライセンス事務局にお問い合わせいただき、対象となる条文や申請要領をご確認の上ご対応ください。

理想的なスタジアム整備の推進

猶予期間設定や理想のスタジアムの明記等によって、課題の解決と、理想のスタジアムの推進を目指す

1. 猶予期間の設置

- ◆ スタジアムに関する例外規定を制定し、上位ライセンスを取得可能とする
 - ① 基準を満たすための工事が着工されており、**3年以内に完成**すること
 - ② 理想のスタジアム4要件を満たしたスタジアムを 将来的に整備することを約束し、昇格後**5年以内に完成**すること（①との併用も可能）
- ◆ トレーニング施設整備に関しても3年の猶予期間を設置する

条件を満たせば、
猶予期間中は、
昇格が可能となる

2. 「理想のスタジアム」の明記

1. アクセスが優れている
2. すべての観客席が**屋根**で覆われている
3. 複数のビジネスラウンジやスカイボックス、**大容量高速通信設備**を備えている
4. **フットボールスタジアム**である

目指すべき
方向性を示す

3. 補助金制度の創設

- ◆ 理想のスタジアムを整備するクラブには、1クラブあたり上限**1,000万円**の補助金を拠出する

理想のスタジアム整備を推進

本資料は、新たな基準の概要を一部説明するものです。

本件新基準を基に施設整備を検討又は実施する場合や、補助金制度の申請を行う場合は、必ず、Jリーグクラブライセンス事務局にお問い合わせいただき、対象となる条文や申請要領をご確認の上ご対応ください。